



結核しずおか

15号 2004年9月22日

発行

財団法人 結核予防会静岡県支部

〒420-0915

静岡市南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 金原明彦

印刷 三協印刷株式会社



最近の結核を巡る課題について

平成12年以来減少を続けてきた本県の結核患者の発生は、昨年、4年ぶりに増加に転じ、852人（44人増）となりました。このうち70歳以上の高齢者は502人（64人増）と、結核患者全体の6割近くを占め、また、70歳以上の10万人あたりの罹患率は98.1と、全国値79.5（暫定）を大幅に上回っております。人口の高齢化に伴って、結核患者も高齢者の割合が全国的に増加していますが、静岡県はその傾向が顕著であるといえます。



その中で、過日、県内の医療機関において、高齢の患者や職員等に結核集団感染が発生しました。高齢者保健福祉施設等においても同様な事件の発生が危惧されることから、県としても、高齢患者の結核発症について、関係機関に改めて注意喚起を行ったところであります。

全国的にみても、若年者中心だった罹患状況から、近年は高齢者中心に大きく変化していることに加え、都市部と周辺地域での罹患率の地域格差が拡大しています。これらに対応するため、来年4月1日には改正結核予防法が施行されますが、その中でも感染リスクの高い高齢者や2次感染を起こしやすい医療従事者等への健康診断を重点的に実施することが盛り込まれる予定です。

また、高齢者における問題に加え、今後の結核対策の趨勢は、発見した患者を確実に治療することであり、改正結核予防法にも保健師等による服薬支援が位置付けられました。本県においても、新しい観点に立った結核対策を推進して参りますので、皆様の御理解と御協力をお願い致します。

平成16年9月

財団法人結核予防会静岡県支部
評議員 林 敬
(静岡県健康福祉部健康福祉総室
技監兼疾病対策室長)

全国・静岡県の結核の統計

平成15年度の本県の新登録患者数は、前年に比べて44人増加して852人となり平成11年以来4年ぶりに前年を上回る結果となっている。

また、年齢構成では60歳以上が約73%と大きな比率を占めており、体力などが弱まる高齢者には定期健診や日ごろの健康チェックが特に大切である。

一方、住民検診受診率が、毎年低下していることが懸念される。

結核の統計

(静岡県健康福祉部疾病対策室資料より抜粋)

1. 結核登録患者 (登録患者数及び新登録患者数の推移 *平成10年以降は新活動性分類による) (人)

区分	年末現在登録患者数				年内新登録患者数			
	全国		本県		全国		本県	
	患者数	10万人対	患者数	10万人対	患者数	10万人対	患者数	10万人対
昭和36年	1,615,099	1,717.1	38,692	1,391.1	419,424	445.9	12,235	439.9
40	1,469,583	1,495.4	35,854	1,231.0	304,556	309.9	7,611	261.3
50	726,862	649.6	16,695	504.6	108,088	96.6	2,751	83.1
60	306,262	253.1	7,086	198.2	58,567	48.4	1,711	47.9
平成7年	168,581	134.3	4,536	121.3	43,078	34.3	1,240	33.2
11	104,813	82.7	2,463	65.2	43,818	34.6	1,044	27.7
12	99,481	78.3	2,279	60.4	39,384	31.0	896	23.8
13	91,395	71.8	2,072	54.9	35,489	27.9	871	23.1
14	82,974	65.2	2,007	53.0	32,828	25.8	808	21.3
15			1,854	48.9	31,638	24.8	852	22.5

2. 結核死亡者数 (人口動態統計による)(人)

年次	全国	本県	死因順位全国
昭和36年	27,916	652	7位
40	22,366	560	7
50	10,567	271	10
60	4,692	126	16
平成7年	3,178	104	23
11	2,935	67	21
12	2,656	30	24
13	2,488	43	25
14	2,316	70	25
15	2,336		

3. 新登録患者年齢構成 (静岡県) (%)

区分	年齢別構成比						
	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳~
昭和36年	20.0	15.9	18.3	13.2	13.4	12.6	6.6
50	-	-	-	-	-	-	-
60	2.9	5.8	6.4	10.3	17.4	22.3	34.9
平成7年	1.9	5.6	5.1	9.9	13.2	22.5	41.8
11	1.4	6.8	6.2	7.5	11.3	17.9	48.9
12	1.2	5.7	5.7	7.6	12.3	16.1	51.5
13	1.0	6.2	5.3	6.3	13.7	18.1	49.4
14	0.9	6.8	6.4	5.3	10.5	15.8	54.2
15	0.7	6.7	6.9	4.3	8.6	13.9	58.9

4. 住民検診受診状況 (静岡県)

区分	平成11年	12年	13年	14年	15年
対象者数(人)	1,059,905	1,057,383	1,124,633	1,123,469	1,203,054
受診者数(人)	502,991	490,461	495,005	481,784	479,139
県受診率(%)	47.5	46.4	44.0	42.9	39.8

市町村保健センターの紹介

大井川町保健相談センター

大井川町の概要

大井川町は、駿河湾に面し、南アルプスを源とする大井川河口の左岸に位置する、平坦な地形の町です。面積 24.54 km²、人口 2 万 3 千 5 百人余で、今年町制 50 周年を迎えました。町では平成 14 年度に ISO14001 を認証取得し、環境に配慮するとともに企業誘致など積極的な事業展開をしております。また、特産物として桜エビ・シラス・志太梨・トマト等が代表される物ですが、最近ではバラやキク、ラン等の栽培も盛んに行われるようになりました。

保健相談センターの主な事業概要

国、県の新たな取組み、町民の健康志向の高まりなどから平成 14 年度に保健計画を見直し「はつらつおおいがわ健康プラン」を策定し推進を図っております。

主な事業の紹介

◎健診体制の充実

健診の申し込みを登録制としており、平成 15 年度の基本健康診査の受診率は 80.6% と県平均より高い数値を示しておりますが、登録制の周知と受診管理を確実にを行うとともに、未受診者に対し奨励通知を行うなど受診率の向上にお努めしております。また、要精検者フォローの充実や健診後の個別健康教育、病態別教室、ハイリスク者訪問等、個々のライフスタイルに応じた助言、指導を行っています。

◎がん検診の実施

各種がん検診の内、胃がん検診については、平成 15 年度の受診率は 50.4% となっております。個別検診と集団検診を実施しており、胃集団検診では、身近で検診できるよう各地区の公会堂等を巡回し受診率の向上に努めるとともに、検診体制についても関係機関との連携をより図っております。

◎歯科保健の充実

中学生以下のむし歯多発児の問題、30～50 歳代での歯周病の割合が県平均より高い傾向を示しているため、保育園・幼稚園・小学校に歯科保健教育を導入し、指導強化を図るなど、また地域歯科医師会と連携して歯の健康まつりや歯科保健講座の開催や定期健診の奨励、40・50・60・70 歳を対象とした成人歯科検診を実施し、歯の大切さへの啓発を行っています。



(歯の健康まつり 検診相談風景)



(転ばぬ先のちえ教室)

◎元気老人・転倒予防事業

介護サービス受給者の 72% が在宅介護となっており、家族への負担が大きいため、地域ボランティアが中心となり、公会堂等を使用し「地域ミニデイ」を開き、体操や手芸・音楽等の指導をするとともに、地域住民の理解と啓発を行っています。

骨折や寝たきりの原因となる転倒を予防するため、60 歳以上の希望者を対象に「転ばぬ先のちえ教室」の実施や終了後の「フォロー教室」を開催し、定期的に運動する機会を作っております。

保健予防係長 井鍋 照男

全国結核予防週間が始まります

…平成16年9月24日(金)～30日(木)

わが国の結核事情は大幅な改善を遂げてきましたが、罹患率、死亡率は先進国の中で最も高い状況にあり、依然として平成11年7月の「結核緊急事態宣言」前と同水準で推移しています。

現在のわが国では、旧世紀になしえなかった結核制圧に向けて、結核対策の見直しを進めているところですが、新しい結核対策を推進していく上で、国民一人一人の理解と協力が必要不可欠であります。結核予防週間を機会に国民の結核に対する関心を大いに高めるとともに、結核に関する知識を深め、結核対策の推進に一丸となって取り組むこととしています。

静岡県結核予防大会の開催

静岡県結核予防婦人会と共催で、静岡県の後援並びに市町村の協力を得て開催します。

- 1 開催日 平成16年9月27日(月)午後1時から
- 2 会場 静岡県総合社会福祉会館 7階 大ホール
- 3 内容 ①結核防事業功労者、功労団体の表彰
②特別講演
・講師 石川信克先生
(財団法人結核予防会
国際部長兼結核研究所副所長)
・演題
「健康で平和な社会をめざして」
－最近の結核事情と婦人会の役割－
・講演時間 午後2時から



(昨年の大会状況)

結核予防週間キャンペーンの実施

静岡県、静岡市、静岡県結核予防婦人会と協力して実施します。

- 1 実施日 ・平成16年9月25日(土) 14:00～15:00
・平成16年9月26日(日) 11:00～12:00
- 2 場所 ・JR静岡駅コンコース
- 3 内容 ・乗降客を対象に結核予防啓発リーフレット・啓発資料を配布して結核予防を呼び掛ける。



(昨年のキャンペーン状況)

◎静岡県結核予防婦人会各支部の協力を得て、県内各地において複十字シール募金運動、街頭キャンペーンを実施し、結核予防思想の普及啓発を図ります。

複十字シール運動募金にご協力を

結核や肺がん等を撲滅するため、複十字シールを通じて事業資金を集めるために積極的に募金活動を行っております。今年もぜひ、複十字シール運動募金のご協力をお願いします。



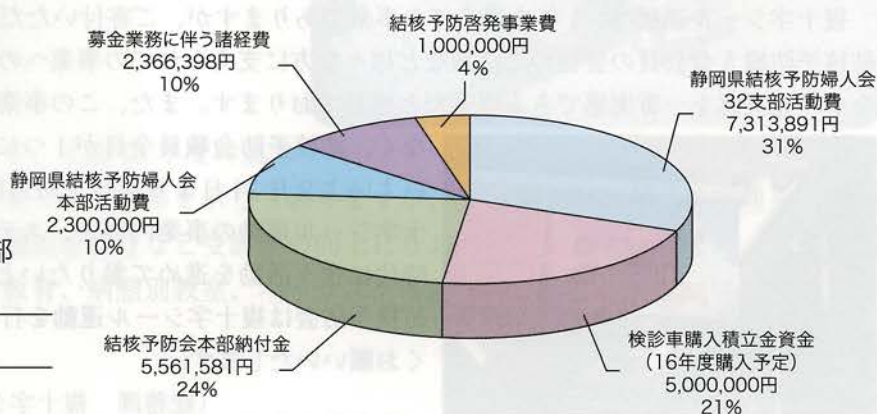
平成 15 年度募金総額

23,541,870 円

《内訳》

- 組織募金 21,034,264 円
- 郵送募金 2,507,606 円

皆さんの温かい善意が活かされております



都道府県別募金額上位5支部



16年度複十字シールの紹介

～シールの国の音楽隊～



16年度の複十字シールも昨年に引き続き画家の安野光雅さんに依頼し、『シールの国の音楽隊』が登場しました。シールの国から飛び出した楽士さんたちが奏でるチェロ、バイオリン、トランペット、フルートの楽しい調べが聞こえてくるデザインです。



複十字シール運動募金事業に携って・・・

私は、複十字シール運動事業に携って3年目になりますが、諸先輩方が築いてくださった実績を大切に維持しながら、新規事業への開拓に努めております。複十字シール運動の歴史は古く100年前からデンマークで始まり、本会では今年で53年を迎えますが、現在、特に若年層を中心に結核に関する知識が薄い傾向が見受けられます。複十字シール運動を代々引き継いでいただくために、複十字シール運動募金のお願いや普及啓発・広報活動を行う際に、毎年新たに発行されるシールや本会キャラクターの「シールぼうや」のPRを行い、若年層への印象づけに力を注いでおります。



また、昨年度より複十字シール運動ならびに結核予防週間の広報を静岡鉄道株式会社様と遠州鉄道株式会社様にお願いし、バスターミナル内のバス停留所等に文字放送を流す他、バスや電車内にポスターを掲示していただくなど、1人でも多くの方に結核に関心をもって頂くよう広報活動も並行して力を注いでおります。

結核予防会では、国内の結核問題への対策や研究を行っている他、インドネシアやミャンマーで現地NGOと協力して結核対策を行っています。今年から結核予防会静岡県支部として、皆様からいただくご寄付の一部を国際協力費に充当させていただくことを考えております。

複十字シール運動は、1年を通じての事業ではありますが、ご寄付いただく際に励ましのお言葉を頂く他、静岡県結核予防婦人会会員の皆様のご活躍など様々な方に支えられての事業への取組みや、自分自身の精神の向上にもつながり充実感を一番実感できる事業だと感じております。また、この事業は、皆様の温かい善意なくしては成立た



なく、結核予防会職員全員が1つになって熱意を伝えなければなりません。いよいよ9月24日より結核予防週間が始まります。年を重ねるごとに、複十字シール運動の事業内容が、ステップアップするよう試行錯誤しながら、時代に合う活動を進めて参りたいと考えております。結核が撲滅するまで、結核予防会は複十字シール運動を行います。これからもご協力どうぞよろしくお願いいたします。

(総務課 複十字シール運動事業担当 主事 中川 エミ)

なぜ・なぜ・なぜに

Q. レントゲン車の待合室や撮影室のドアは、なぜ閉めるのですか？

基本は、医療法施行規則、第4章「診療用放射線の防護」の中に定められている規則に基づいて行われています。

放射線の被曝は、生物にとって有害なものであるため、人が被曝する恐れのある場所を管理区域として立ち入りを制限し、被曝からの安全な管理に注意を払って



ます。X線の発生装置から最初に出る放射線を一次放射線(日常「X線」と呼んでいる。)と言い、このX線自体は、待合室へは届かないようになっていますが、X線が人体に照射されると、その身体はじめ周囲の物体(装置構成器材、天井、壁、床など)から二次放射線(通常「散乱X線」と呼んでいる。)が生じます。この散乱X線は、レントゲン写真上の白黒の差や鮮明度に影響を及ぼすばかりでなく、人体にとっても好ましくありません。避けようとするれば避けられる被曝は極力減らさなければなりません。ですから、ドアを閉めるのは人体に直接あたるX線の防護ではなく、この散乱X線からの余分な被曝を避けるために遮断しているのです。また、この散乱X線にあたった場合、障害はゼロではありませんが、日本人が1年間に浴びている自然放射線よりは少なく、2m以上離れていれば安心できるレベルです。

レントゲン車や病院などで行っているX線検査は、病気を見つける利益と被曝を避けることで病気を見過ごす不利益のどちらが重要であるかの考えに則って行われています。

(検診課 課長補佐 渡井 雅文)

『結核予防法関係法令集』のご案内

50年ぶりの大改正！ そのすべてがこの1冊に！！

日頃から結核予防会の出版物をご利用いただき、誠にありがとうございます。

このたび、6月15日に「結核予防法の一部を改正する法律」が可決成立し、平成17年4月1日より施行の運びとなりました。これに合せて平成17年3月末に「結核予防法関係法令集」の発行を計画し、準備を進めているところです。

その特別企画としまして、予定価格8,400円（税込）のところ、平成16年9月30日までの早期予約申込み分につきましては、5%引きで頒布いたしたく、ご案内申し上げます。

(定価8,400円の場合は、5%引きで7,980円となります。)

本書は、このたびの大改正に即した業務遂行になくてはならない関係者必携の1冊です。

どうぞこの機会に、ご予約を賜りますようお願いいたします。

F A X 送 信 表

【宛先】

財団法人結核予防会静岡県支部
総務課 大石 宛

TEL 054-261-2512
FAX 054-261-9474

平成 年 月 日

【申込者】

連絡先 TEL () -
氏名等

★結核予防法関係法令集予約申込書★

書 籍 名	予 定 価 格 (税 込)	冊 数
結 核 予 防 法 関 係 法 令 集	1冊8,400円	冊

お届け先 郵便番号 —

住 所

電話番号 () —

お 名 前

請求宛先 (お届け先と同様の場合は記入不要。但し、お届け先と異なる場合は、その部分のみ記入)

郵便番号 —

住 所

電話番号 () —

請求書記載名

〈おしらせ〉

〈10月中旬に新しいリフト付き胸部検診車が導入されます。〉

身体が不自由な受診者の方や介助者に大きな負担を掛けることなく、車椅子に乗ったままで、胸部レントゲン撮影ができる検診車です。

16年9月下旬に、結核予防会総裁 秋篠宮妃殿下から授鍵を経て、10月中旬当支部に導入されます。



出版だより

キ〜才先生の一日



予約受付中! ●●●●

結核の統計 2004...定価 2940円 9月下旬発行予定

新しい結核医療の基準...定価 1995円 9月中発行予定

医師・看護職のための結核病学

増刊③「結核を病んだ人たち」

...定価 1260円 秋発行予定

JATA テキスト②

標準治療では難しい患者の治療...価格未定...秋発行予定

結核予防法関係法令集...予価 8400円 17年3月発行予定



8月最新刊! ●●●●

結核の常識 2004...定価 105円

結核の制圧、みんなの力で!

結核予防会30年
永年勤続表彰



職員の表彰

梶葉 一雄
(主任技師)

お問い合わせは・・・
(財)結核予防会 静岡県支部
TEL: 054-261-2512(代表)
FAX: 054-261-9474

編集後記

- ☆ この度の結核予防法施行令の一部改正は、当支部の運営に具体的にどのような影響が出てくるか強い関心があるところでした。
- ☆ 先日、電車の時間待ちのため、静岡駅構内にあるコーヒーショップでコーヒーを飲んでいると、横一列に数人が並ぶカウンターで女性4人が後ろ向きで座っていました。その4人の女性は、お互い全くの他人同士のようにでしたが、4人のうち3人が煙草を吸っていました。僅かな時間での光景でしたが、改めて「女性の喫煙が増えている。」と言われている現実を目の当たりにしたような気がしました。
- ☆ 浜名湖花博が4月8日にスタートして、関係者の皆さんの御努力もあって、予想以上?の盛況です。小生も8月8日に県外の友人8人と行ってまいりました。猛暑にもかかわらず、なかなかの賑わいでしたが、限られた時間の中で、目指す目的のものに限定して浜名湖花博を十分堪能してきました。
見切れなかった部分については期間中に日を改めて、もう一度行く計画を立てています。なお、先日一緒に行った県外の友人達の中には、何人かがリピーターでした。
当支部職員の中には、この花博を楽しみに期間中は何回でも行ける全期間入場券を持っている者もあり、既に6回は行って来たそうです。

(A.K)

題字：田中隆（元支部職員） 表紙撮影：村木弘知（元県職員）